

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日） 放課後等デイサービス自己評価表の集計（事業者向け）放課後等デイサービス事業所幸愛

※アンケート調査実施期間 令和5年4月1日から令和5年4月22日

※アンケート結果をもとに討議した日 令和5年4月25日

※今年度もコロナ禍により幸愛独自で追加項目（44、45、46）を設けさせていただいております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	改善目標・工夫している点・対応等
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1			・指導訓練室は療育ができる広さを確保している。また学習支援中は、他の児童が入らないように声かけ等を行なっている ・本人（児童）に合わせて行なっている
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1			・制度上の人員配置基準上問題はないが、支援の質を考えると専門的な資格保有者の配置を増やすことが望ましいと考えられる（令和2年度より継続中） ・確認をして行なっている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	4			・移動式スロープや車いすで直接外から入ることができるスロープがあることを職員に周知する
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8				・受入前に一日の流れや児童にどう支援するかを話している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1			・別途満足度アンケートを実施することによりニーズや要望を得て支援につなげている。またそれぞれの支援に対するモチベーションも上げている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2			・平成30年度より毎年度、ホームページに公表している ・討議に参加できなかった非常勤職員に関しては、別途結果を配布する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	2		・第三者による外部評価を行っていない。『どちらとも言えない』と回答した職員がいる為、全体に周知する必要がある
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1			・福利厚生の一環として、開所当初より費用は全額会社負担で外部研修の受講を勧めめている

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				・保護者様、児童のニーズがあった場合、記録したのちに児童発達支援管理責任者へ伝えている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1		1	・独自のアセスメントシートを使用している ・個々に準備はしているが、全体ではできていないので改善策を模索します
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1			・役割分担である為、立案は個人で行ない確認はみんなで行なう。最終的には児童発達支援管理責任者（管理者も含む）が決断する（令和3年度、4年度と同様） ・常勤職員が『児童がやりたいことリスト』見た内容をもとに話し合っていて決めている。また、月ごとの学校行事に合わせて工夫している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2			・『できる』ようになるには、ある程度固定することも重要と考えている（令和3年度、4年度と同様）
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1			・学校終了後は療育プログラム行い、学校休業日は創作活動や課外活動を取り入れたりしている。特に学校休業日の活動は、日頃の療育で培ったスキルを発揮できるように活動場所を外に設定している（令和3年度、4年度と同様）
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2			・特性に応じて個別活動から小集団活動、集団活動へとスモールステップを踏んで計画書を作成している（令和3年度、4年度と同様） ・家族のニーズやアセスメントした内容も考え活動に含ませている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4			・非正規職員については、口頭で伝え『伝達ノート』に記入している。状況によっては、打ち合わせができない時があるが、今後は支援開始前の確認を行なっていきたい（令和3年度、4年度と同様）
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2			・記録は専用クラウドで行ない、いつでも振り返りができるよう共有しているが、共有だけではなく、口頭での共有をもっと行っていきたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8				・常に支援中であってもこまめに記録を取るよう徹底している ・モニタリングの際に日々の記録を活用している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8				・モニタリング評価表を作成し、職員に意見を募る
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	4			・放課後等デイサービスガイドラインの総則の確認をする、かつ、いつでも確認ができるような体制を整える必要がある	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		・児童発達支援管理責任者だけではなく、ふさわしいとされる職員に会議の参画を打診している（令和3年度、4年度と同様）
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	3		・学校との情報共有は保護者へ確認した上で行なっている。場合によっては、保護者（相談支援事業所へ会議の要請等）を通じて学校との連絡調整を行なう。特に新しく利用を開始する児童生徒に関しては、スムーズな引き渡しができるよう学校（保護者を通じて）と事前に打ち合わせを行なっている場合もある（令和4年度と同様） ・下校時間等は「保護者に確認してください」という学校が増えてきている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		7	1	・医療的ケアが必要とされる児童生徒については、医療機関だけではなく、学校や他事業所との連絡体制も整えている（令和3年度、4年度と同様） ・令和4年度では、医療的ケアが必要な利用者はいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	7		・相談支援事業所を通じて情報の共有をさせていただいている（令和3年度、令和4年度と同様） ・情報はファイルで保管し共有する
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2		・相談支援事業所を通じて情報の提供をさせていただいており、かつ必要があれば、保護者や相談支援事業所を通じて、関係者会議（担当者会議も含む）に参加することもある（令和4年度と同様）
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5		・保護者を通じて助言をいただいている。事業所と専門機関との連携はない（令和3年度、4年度と同様）
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6		・コロナ禍で地域資源の利用に制限があってもなかなか交流する機会はないが、公園遊びをするときや地域の社会資源（施設等）では障害のない子どもたちと同じ環境で活動を行なうことがある ・近所の児童と外でドッチボール等を行うことがある
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		6	2	・令和4年度は大野城市の協議会に参加していない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・常に共通理解を行なった状態で、活動に関しては情報をフィードバックするようにしている（送迎時・連絡帳にて） ・送迎時に伝えられなかったことは、LINEや電話連絡を行なっている ・別途面談日を設けて話をする機会を設ける
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	1	・現状行っていない ・ペアレント・トレーニングのメソッドはあるが行っていない ・個別に保護者への支援を行う	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1			・新規契約時に各種説明を行なっているが、コロナ禍であり、文書による周知と併用して行なっている（令和4年度と同様）
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				・子育て経験のある職員により助言等を行なっている ・一度事業所に持ち帰り話し合いを行なっている ・相談に乗ったことについて、申し送りした方が良いことは、職員、相談支援事業所へ報告している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3			・令和4年度は夏に保護者会を行なった
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				・軽微な苦情であっても体制を整えて迅速かつ適切に対応できるようにしている（令和3年度、4年度と同様）
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3			・毎月、利用予定表とともに活動予定表を発行している（令和3年度、4年度と同様）
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1			・個人情報の取り扱いには十分に注意を払っている（令和3年度、4年度と同様）
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2			・保護者より先に子どもから相談があった場合は、保護者に対し事情を伝え解決の糸口を探っている（令和3年度、4年度と同様）
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7	1		・令和4年度では、夏祭り（保護者会）を通じ地域住民を招待して交流を行なった

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8				・新規契約時に保護者へ説明を行なった。また複写物を配布することがあった
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8				・年に2回以上、総合訓練と部分訓練を行なっている。令和4年度も前年度同様『コロナ禍による訓練』と称し、消防署へ届出て訓練を行なった ・時期や災害が起こりうる季節には、その都度対応した訓練を行なう工夫をしている（例えば、雨季の場合は大雨洪水を想定した訓練など） ・年に2回以上は行なっている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				・令和4年度では、虐待防止委員会を設置し社内で研修を行なった
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1			・令和4年度では、身体拘束適正化委員会を設置し虐待防止委員会と一緒に社内研修を行なった
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	1		・契約時に必ず食物アレルギーの有無の確認を行なっている。おやつのあるので食物アレルギーや疑いがあれば、持参してもらうようお願いをしている（令和3年度、4年度と同様） アレルギー表を作成し周知している。また食べる前に再度確認している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	5			・クラウド上に記録し共有している（令和3年度、4年度と同様）
衛生面	44	コロナ感染対策防止に努めているか。また、利用児童に対してマスクや手洗いの徹底をしているか（3密回避行動も含む）	7	1			・利用児童生徒に対し、マスクの着用や手洗いの声かけや誘導を行なっている ・令和5年3月には、緩和措置によりマスクの着脱は自由にしてもらっている ・マスクの実施の緩和により、熱中症対策として外している
	45	コロナ感染対策として、事業所内の清掃及び消毒、除菌等を行っているか	8				・毎日サービス終了後に行なっている （令和3年度と同様に継続中）
	46	保護者に対して、コロナ禍での利用判断基準等を伝え、適切に対応したか	8				・利用判定表を作成し保護者に周知している。ホームページに利用判定表を公開し、関係機関に周知している （令和3年度と同様に継続中）